

# 技術用語の読み方

2016年6月22日  
第13回1bit研究会  
中田 宏

# I<sup>2</sup>Sの読み方

- 中田は『アイ・ツー・エス』と読む
- 『アイ・スクエア・エス』が正しいと強弁する人もいるが、それならI<sup>2</sup>Sと書くべきではないだろうか？
- 30年くらい前『KYON2』と書いて『キョンキョン』と読ませるアイドルがいた。ファンの前で『キョン・スクエア』と読んだら相手にされなかった  
「『ザ・スクエア』って『The2』と書いていいの？」とかたずねた記憶もある。
- 「そもそも『キョン』の2乗であるならば、(KYON)<sup>2</sup>とか(KYON)(KYON)と表記すべき」という中田の主張も無視された
- 「2が2乗を意味することに妥協しても、展開したときにKYONNにならない保証はあるの？」という中田の質問も無視された
- そういえば、GALAXIAN<sup>3</sup>のことを皆『ギャラクシアン・スリー』と呼んでいた気がする
- 無粋な人がいるかもしれないので念の為ことわっておくと、最初の2項目以外は半分冗談

# 登録商標にではなく 仕組みの考案者に敬意を払おう

- 勝手に別名の登録商標を作られた例
  - ΔΣがDSD
  - Fire Wireが i-Link
- 一般化するために登録商標を避けた例
  - ダイヤモンド差動回路→ダイヤモンド・バッファ
  - HPIB → GPIB
  - I2C → TWI
- 一般名詞化した登録商標も多い
  - ウォークマン
  - レーザー・ディスク
  - キャタピラー
  - ジープ
  - ホチキス
  - プラモデル
  - オセロゲーム

中には、登録商標を一般名詞として使用する許可を明言した会社もあって、尊敬できる

- おまけ1 登録商標の意味付けが迷走した例
  - Digital Video Disc → Digital Versatile Disc → なんの略でもない固有名詞としてのDVD
- おまけ2 同じ登録商標を使っているのに互換性が無い例
  - Blu-ray Disc version 0.9 と version 1.0以降